

ルーブリック評価表（看護研究Ⅰ：前期）

評価項目／評価基準		(優) 8-10 点 評価基準を十分に達成	(良) 7 点 評価基準をおおむね達成	(可) 6 点 評価基準達成には 努力が必要	(不可) 3 点 評価基準を達成するに は大きな課題がある
文献検討 (30)	文 献 検 索 (10)	文献検索の方法（データベース・キーワード・年代等）が適切で、文献カード等を用いて文献の整理ができ、疑問を明確化できる。	文献検索の方法は理解している。文献の整理はおおむねできる。	文献検索の方法は理解しているが、根拠性に乏しい。文献の整理はできるが、指導を受けて、疑問を明確にできる。	文献検索の方法は、適切でない。文献の整理もできない。
	先行文献の検討 (10)	先行文献を適切な視点で、十分にクリティークを行い、文献を選定できる。	基準とする視点、内容を持って、先行文献のクリティークを行った。	先行文献のクリティークを行う際は、指導を受けて検討できる。	適切に文献検討を行うことができない。
	研究課題の明 確 化 (10)	研究課題とする内容に関して「明らかにされていること」、「明らかになっていないこと」が十分に検討され、明確化されている。	テーマ・目的に沿った先行文献や資料を収集できる。文献レビューの記述、まとめがおおむねできる。	先行文献や資料を収集できる。文献レビューの記述やまとめが、指導を受けて整理できる。	先行文献や資料を収集できない。文献レビューの記述やまとめが整理できない。
研究方法 (20)	研究方法、データ収集方法、分析方法 (10)	研究目的を達成するために、適切な研究方法、データ収集方法、分析方法を十分検討して選択し、記述できる。	研究目的に沿って、適切な研究方法等を検討して記述できる。	適切な研究方法、データ収集方法、分析方法は検討しているが、指導を受けてできる。	研究方法、データ収集方法、分析方法が適切でない。または明確に記述されていない。
	倫理的配慮 (10)	研究倫理について十分に理解しており、倫理的配慮が具体的に記述できる。	研究倫理について理解しており、おおむね記述できる。	研究倫理について理解できていない部分があり、記述は指導を受けてできる。	研究倫理について理解できていない。倫理的配慮が記述されていない。
研究の意義 (10)	看護実践への貢献	研究成果を看護実践へつなげる検討を行い、その考えは根拠性をもって述べることができる。	研究成果を看護実践に繋げる検討を行っているが、根拠性に欠ける部分がある。	研究成果を看護実践につなげる検討を行うことや考えをまとめることに努力を要す。	研究成果を看護に繋げる検討はできていない。
計画書の体裁 (10)	実施要項に沿って記載	要項に基づいて、規定を守り、体裁を整えることができる。	要項に基づいて、体裁をおおむね整えることができる。	要項に基づいた体裁について、指導を受けて整えることができる。	要項に沿った体裁を整えることができない。
研究に取り組む姿勢 (20)	主 体 性 (10)	積極的かつ意欲的に研究を進めることができる。	自主性をもって研究を進めることができる。	自主的ではないが、研究指導を受けることができる。	指導を十分に受けていない。
	研究のプロセスの理解 (10)	研究計画書作成のプロセスについて理解でき、同様な研究であれば助言なくできる。	研究計画書作成のプロセスについて、取り組みながら、おおむね理解できる。	研究計画書作成のプロセスについて、指導を何度も受けて、理解できる。	研究計画書作成のプロセスが理解できない。
提出 (10)	計画書の提出	検討・修正を十分に行い、期限内に提出できる。(10)			期日までに提出できない。(0)
総合計 (満点 100 点)					点